

不動産・まちづくりのさらなる展開

地域の皆様と連携して安心して暮らし・過ごせるコミュニティを形成し、地域・社会の課題解決に貢献しています。また、拠点駅の大規模開発と周辺まちづくりの促進、エリアマネジメントの推進により、人々が訪れたいくなる、いきいきとしたまちを創出しています。

マーケティング力とマネジメント力を強化し、
拠点駅や沿線を中心に「駅・まち」の魅力を高めるまちづくりを推進

コミュニティ形成につながる場づくり

行政や周辺事業者等との連携や、JR西日本の交通ネットワークの強みを活かして、沿線のまちづくりを推進しています。

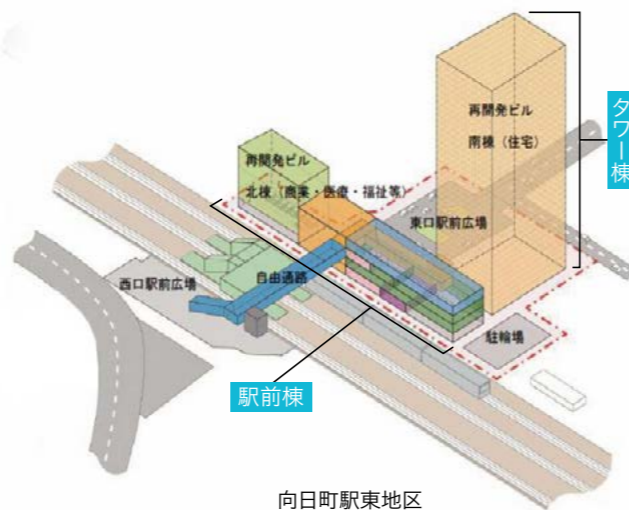
西明石駅南地区では、市との連携によりまちの魅力を高め、駅周辺への行政施設の設置や周辺開発も誘発し、広域鉄道ネットワークを活かした、便利で住みよいまちづくりを行います。

向日町駅東地区では、駅の東西をつなぐ自由通路・橋上化事業と駅東エリアの市街地再開発事業を一体的に行い、スタートアップや最先端企業が集積した働きたいまちの創出を目指しています。

「ハコ」ではなく、「コミュニティ形成につながる」場づくりを推進し、コミュニティの形成を通じて、少子高齢化や、防災・防犯など、お客様や地域・社会が抱えるさまざまな課題の解決を目指します。



西明石駅南地区



向日町駅東地区

まちなかの体験価値向上

- 周辺事業者などと連携したエリアマネジメントによるまちなか全体の魅力向上
- コンテンツの継続的更新などによる体験価値と集客力の向上
(ジェイアール京都伊勢丹・SC・駅ビルなど)
- 駅前空間の整備による交流機能拡張、まちとの回遊性向上



大阪ステーションシティでのイベントの様子



ジェイアール京都伊勢丹のイベントスペース

拠点駅開発



大阪駅新駅ビル開発 (イノゲート大阪)

2024年 秋 開業予定

新しい改札口と直結する圧倒的な利便性を誇る駅ビルを開発。多様化するワークスタイルに対応



広島駅新駅ビル開発

2025年 春 開業予定

新駅ビルによる賑わいづくりにあわせ、路面電車のJR改札口への乗り入れ等交通ネットワークの利便性向上により、まちの魅力を高める



三ノ宮駅新駅ビル開発

2029年度開業予定

神戸の魅力を発信する新駅ビルの開発と共に、行政や周辺事業者と連携した歩行者ネットワークの構築、周辺まちづくりにより、エリアの拠点性を向上

大阪駅西地区開発 (JPタワー大阪)

2024年 夏 開業予定

西日本最大級のオフィスや、商業施設と劇場、グループの象徴的なホテルを設け、都心の体験価値向上を図る

※日本郵便株式会社、株式会社JTとの共同事業



プロジェクト効果・設備投資額

■ プロジェクト効果

	総投資額	EBITDA 想定*
大阪	1,000億円	90億円
広島	600億円	50億円

*2027年度におけるグループ全体での効果

■ 本計画期間中の設備投資額**

不動産・まちづくり	2,100 億円
-----------	----------

**2023~2025年度の累計。出資を含む。